

令和7年度第3回鹿児島市交通事業経営審議会

日時	令和7年度第3回鹿児島市交通事業経営審議会	会場	交通局3階 第2会議室
出席者	古川会長、小山委員（副会長）、松枝委員、江口委員、上仮屋委員、東川委員、奈良迫委員、津江委員（8名）		
市出席者	交通事業管理者、交通局次長（総合企画課長）、総務課長、経営課長、電車事業課長、バス事業課長		
会次第	1 開会 2 交通局長の挨拶 3 報告 (1) 令和6年度鹿児島市交通事業特別会計決算の概要について (2) 事故等調査委員会の結果について (3) 令和7年4月以降のトピックス (4) 交通事業経営計画見直しの進捗状況等について 4 閉会		

会次第3-(1) 令和6年度鹿児島市交通事業特別会計決算の概要について

発言者等	協議事項・質疑・回答等
○委員	令和6年度決算を対前年度で比較したときの概況は。
●事務局	経常収益が約1億9,500万円の増となった一方で、経常費用が約3億2,900万円増となったことにより、経常損失は約1億3,400万円増加した。経常費用の増は、人件費、動力費・燃料費等の価格高騰によるもの。また、5年度は土地売却による特別利益があったが、6年度は無かったことから、純損失は約2億3,700万円増加した。

会次第3-(2) 事故等調査委員会の結果について

発言者等	協議事項・質疑・回答等
○委員	今回の事故の要因である必携品の取り扱いはどうになっていたのか。
●事務局	運転士は、法規集や、心得のほか、乗換券等を携帯し、乗務にあたることとしており、置き場所までは定めていなかった。今回の事故を受け、法規集を車内に設置する等の携帯品の削減や、入れ物の設置など、車内で探すことがないようにしたい。
○委員	運転支援システムとは、具体的にどのようなものか。また、事故に伴う代替バスの運行は、運転士不足の中、どのように対応したのか。
●事務局	AI搭載のカメラを車両前方と運転士向けに設置し、前方車両との距離に応じてアラームが鳴るほか、居眠り・わき見運転等を検知し、アラームが鳴るシステムである。契約は完了しており、12月に納品、1～3月での全車両への取付を予定している。 事故に伴う代替バスについては、兼務辞令の出ている内勤職員や、応援人員として待機していた運転手、乗務を終了した運転手で対応した。
○委員	前方車両を検知してアラームがなると説明があったが、前方車両など外部にも聞こえる程度の音量なのか。
●事務局	進行している車両の運転士に聞こえる程度の音量であり、前方車両まで届くものではない。
○委員	事故が続けて発生しており、AIの導入により事故を防止することは勿論だが、運転士に対しても再発防止に向けてしっかりと注意をしていてもらいたい。

（裏面に続く）

会次第 3-(3)

令和 7 年 4 月以降のトピックス

発言者等	協議事項・質疑・回答等
○委員	クレジットカードの利用割合で 18%を占めている Mastercard が、今回、運賃決済に導入されたことは良いことだと考える。また、中国の利用が多い銀聯についても、今後利用者が増加することが予想される。そのような中、観光案内所では、乗車方法について、質問する外国人が多いと聞いており、利便性の点からも、モバイルやタッチ決済の動向については、今後も注視していくべき。

会次第 3-(4)

交通事業経営計画見直しの進捗状況等について

発言者等	協議事項・質疑・回答等
○委員	「各方面からの増収対策」とはどういったものか。
●事務局	例えば、新しい広告媒体であるデジタルサイネージや、ジャック広告の周知など広告収入の開拓に努めてまいりたい。
○委員	「令和 7 年度で予定していた土地の売却が終了」とあるが、素案の「浜町車庫の貸付・売却」は除外したということか。
●事務局	浜町車庫については、「貸付や売却等」で引き続き検討するが、現時点で予定していた売却可能な土地については、すべて売却が終了したため、指標としては、一旦削除した。
○委員	「根本的な経営改善につながる目標」として資金不足比率の項目を加えた点は、評価する。一方で、令和 8 年度に運賃改定しても、11 年度に同比率が経営健全化基準に抵触する見通しであることは、議会・市民にも丁寧な説明が必要と考える。
○委員	市電の 170 円から 200 円への運賃改定については、周囲であまり声を聞かない。財政見通しにより避けられない、先々の改定に対して心の準備も必要であるため、説明等はしっかりとしてもらいたい。
○委員	パブリックコメントの件数については、前回よりも伸び悩んでいると感じる。追いつみで増加を図る予定はあるのか。
●事務局	パブリックコメントの募集期間については、前回より延ばしており、車内広告等でも呼び掛けているが、あまり件数が集まっていない状況。ホームページ上でも見やすい位置に配置する等し、追いつみを図ってまいりたい。
○委員	パブリックコメントは交通局モニターからも募集しているのか。
●事務局	局モニターに対しても、送付をしている。